

14. 子育てに関する主な意見、要望等

<分類別件数>

No.	分類	就学前児童調査	小学生調査
	全体	358	283
1	認定こども園	3	0
2	子どもの医療費、小児科、小児健診	39	8
3	幼稚園	10	0
4	保育所	38	0
5	小学校	18	55
6	中学校	0	9
7	遊び場	122	79
8	一時預かり	18	0
9	子ども家庭支援センター・子育てステーションこころの	18	1
10	児童館	5	10
11	学童クラブ	16	34
12	放課後子ども教室	2	4
13	ファミリー・サポート・センター	3	4
14	病児・病後児保育	9	7
15	その他保育施設	8	0
16	母子保健・産後ケア	16	0
17	障がい児支援	17	12
18	情報提供について	6	14
19	経済的支援	33	29
20	子どもについての講座	3	0
21	相談・交流	7	7
22	安心・安全	11	31
23	道路・交通・移動	29	48
24	その他	79	90

1. 認定こども園に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 土曜日に預かってもらえない。そのため、土曜日にショートステイ施設に預けざるを得ず経済的にも辛い。
- ・ 認定こども園の保育料は3歳になった翌月から無料となるが、早生まれだと不公平である。3歳になる年度の始めから無料にしてほしい。
- ・ 認定こども園の延長保育の料金を補助してほしい。

2. 子どもの医療費、小児救急、小児健康診断に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 高校生以下の医療費の無償化は、大変有り難く助かっています。
- ・ 夜間の小児救急の受診体制をしっかりと整備してほしい。

【小学生調査】

- ・ 小児の救急医療(診療所)を増やしてほしい。
- ・ オンラインで予約や順番待ちができる仕組みを市で検討してほしい。
- ・ 小児科等の終わる時間が早過ぎる。
- ・ 小児救急の搬送先や子ども医療電話相談(#8000)の紹介先が市外の病院になるのを改善してほしい。

3. 幼稚園に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 幼稚園に満2歳の翌月から通うことができ、週2回の利用ですが助かりました。
- ・ 土曜やお盆、年末年始に子どもを預かってくれないので困る。
- ・ 延長料金の補助金を出してほしい。
- ・ 市で定期的に安全対策や保育環境等を確認してほしい。

4. 保育所に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 職場が遠方のため、延長保育時間を 20 時頃迄にしてほしい。
- ・ 保育の時間を延ばして欲しい。
- ・ 保育所の対応に不満があった時に相談しても対応が悪い。

5. 小学校に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 子どもが小学生になったら、徒歩で 30 分以上かけて学校まで行くことになるので、夏場の熱中症が心配です。夏場だけでもバスの利用などを可能にしてほしい。
- ・ 小・中学校の給食費を無料にして欲しい。
- ・ 給食の質を上げてほしい。汁物をだして。魚を増やして。

【小学生調査】

- ・ 給食費無償化をしてほしい。
- ・ 給食の充実を図ってほしい。(質や量の向上)
- ・ 施設、トイレの老朽化の改善、学校備品の充実(テレビやプロジェクター等)をしてほしい。
- ・ 通学路の見直しをしてほしい(距離が遠い、危ない)。見守りの人数を増やしてほしい。
- ・ 授業についていけない子や落ち着きのない子、不登校の子のサポートを改善して、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導の充実を図ってほしい。
- ・ プールや体育館等を開放して欲しい。
- ・ 放課後や休日、長期休暇中に子どもが過ごせるようにしてほしい。
- ・ 放課後に校庭で遊ぶ時、一度帰宅しなければいけないルールを変えてほしい(家が遠い子は遊ぶ時間が無くなるため)。
- ・ タブレット端末の使い方の改善をしてほしい。

6. 中学校に関すること

【小学生調査】

- ・ 夏の間、中学校のプールを子ども達に開放してほしい。
- ・ 痴漢や不審者が心配なので、中学校での自転車通学の可能な距離を延ばしてほしい。
- ・ 不要になった中学校の制服のリサイクル会をそれぞれの中学校でやってほしい。

7. 遊び場に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 遊具のある公園がとにかく少ない。あっても家から遠く車で行かなければならないが、駐車場がない。
- ・ 徒歩5分くらいの場所に公園がないため、近所の子どもと家の前で遊ばせっていると苦情を言われ、子どもたちがかわいそう。外で遊ばせることができず家の中で過ごしてもらっている。
- ・ あきる野の自然を活かしたアスレチックのようなアウトドア遊びができる場所がほしい。
- ・ 公園がほとんどないので、せめて走り回ることができる広場、原っぱがほしい。
- ・ 公園の遊具の破損や老朽化を長期間放置したままで、対応が遅い。
- ・ 公園が少ないと思う。公園で遊ばせるために青梅市まで足を延ばさなければならない。
- ・ 少し大きい子がボールで遊べる公園が増えるといい。

【小学生調査】

- ・ 放課後に遊べる場所が少ない。近所に気軽に行ける公園、広場を作してほしい。
- ・ 雨の日でも遊べる屋内施設がほしい。
- ・ 遊具を増やし、古いものや壊れたものは修繕してほしい。
- ・ どの年齢の子どもでも遊べる遊具がほしい。
- ・ 自然を活用した遊び場が欲しい。
- ・ 球技ができる公園、遊び場が欲しい。
- ・ 少しでも大きな声を出したり、ボール遊びをしたりしていると、周りの大人に怒られ、学校に連絡されて安心して遊べない。
- ・ 小和田グラウンド、小峰グラウンド、東中横の市民広場等、予約が無い時は子どもの遊び場として使わせてほしい。

8. 一時預かりに関すること

【就学前児童調査】

- ・ 乳幼児一時預かりをお願いする流れ(市役所へ行き園に電話して面談して利用日を決める)がとても大変です。隣の日の出町は役場を通さず直接園に電話して次の日でも預けられます。親(母)が急に体調不良になった時などとても大変です。市役所を通さずもっとスムーズに一時預かりができるようになってほしい。
- ・ 兄弟割のような制度を作してほしい。1人1単位 1,000 円を2人預けるとなると少し負担になってしまう。
- ・ こころのの一時預りを9時から 17 時まで延ばしてほしい。ハローワークに行く時や上の子の行事の際に預り時間が足りず、利用を断念したことがある。

9. 子ども家庭支援センター・子育てステーションこころのに関すること

【就学前児童調査】

- ・ 子育てひろばが日曜日にも利用できたらいいと思う。
- ・ 子育てひろばの開始時間が9時だと助かる。
- ・ こころの以外でも、未就学児が広々と遊べる子育てひろばがほしい。

10. 児童館に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 児童館を利用したいが、幼児ルームがないので利用をためらう。幼児が遊びやすい空間を作してほしい。
- ・ 児童館の子育てひろばのイベントや子育てサークル等を土・日にも開催してほしい。
- ・ 対象が小学生のように感じる。幼児も利用できるようおもちゃを充実させてほしい。

【小学生調査】

- ・ 一度家に帰らず、学校からそのまま児童館に向かえるようにしてほしい。
- ・ 日曜日・祝日も開放して欲しい。
- ・ 普段利用していない子どもも気軽に参加できるようにしてほしい。

11. 学童クラブに関すること

【就学前児童調査】

- ・ 学級閉鎖になった時に学童クラブを利用できない。他の自治体では、学級閉鎖の場合でも健康に問題がなければ通える所もあるので、検討してほしい。

【小学生調査】

- ・ 預り時間をもっと長くしてほしい。また、長期休暇中だけや単発利用、短時間利用が出来るようにしてほしい。
- ・ お盆や年末年始、学級閉鎖中も利用できるようにしてほしい。
- ・ 親が働いていなくても利用できるようにしてほしい(周りの友達が皆学童に行っているため遊ぶ友達がいない)。
- ・ 定員をもっと増やしてほしい。
- ・ ルールが多すぎ、外遊びをさせてもらえない。もう少し伸び伸びと過ごさせてほしい。
- ・ 長期休暇中に給食やお弁当の手配をしてほしい。

12. 放課後子ども教室に関すること

【小学生調査】

- ・ 実施時間をもっと延ばしてほしい。
- ・ 実施回数を増やしてほしい。

13. ファミリー・サポート・センターに関すること

【就学前児童調査】

- ・ 双子を育てているが、ファミサポやベビーシッターは、双子や多胎児は対象外の事が多く利用できない。

【小学生調査】

- ・ 利用料が高く、気軽に利用できない。

14. 病児・病後児保育に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 病児・病後児保育を利用しようと思っても、診断書をもらうまでに時間がかかり、結局預けられないことが多い。

【小学生調査】

- ・ 預けるまでの手続に時間がかかるので、急に体調が悪くなっても預けられなかった。
- ・ 受入れ人数をもう少し増やしてほしい。

15. その他の保育施設に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 秋川地区だけに色々な機能が集まっているが、五日市地区にも子どもを預かってくれる所がほしい。
- ・ 清潔な「赤ちゃんふらっと」を増やして欲しい。

16. 母子保健・産後ケアに関すること

【就学前児童調査】

- ・ 産後一か月くらいはとても大変だったので産後ケアを充実してほしい。
- ・ 産後ヘルパー派遣事業を拡充してほしい。

17. 障害児支援に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 市の発達相談を利用しているが、予約が半年、1年後になってしまうので、相談や発達検査の日数を増やしてほしい。
- ・ 放課後等デイサービス等障害のある子どもの施設を増やしてほしい。
- ・ 子に障害があった場合又はあるかもしれないという場合に就学までの流れを一例として示してほしい。例えば、3才児健診等で発達の遅れや障害があると診断された時に、就学までの流れ（児童発達支援事業所へ通う道もある等）を一例として教えてほしい。

【小学生調査】

- ・ 特別支援学級や特別支援教室をもっと充実してほしい。（送迎等も含む）
- ・ 障害の程度に合わせたグループホームや作業所などを増やしてほしい。
- ・ 予約が先まで取れないので、療育支援センターを増やしてほしい。
- ・ 臨床心理士の方はとても忙しくなかなか予約が取れない。もっと臨床心理士を増やしてほしい。
- ・ 発達障害児の相談先、病院をもっと身近に増やしてほしい。
- ・ 情緒障害児の通える施設が少ない。運動面だけでなく心理面の療育を積極的に行ってくれる施設を充実してほしい。
- ・ 障害者も気軽に利用できる公園を整備してほしい。健常者と障害者が小さい頃から共存する事で障害者に対する偏見もなくなると思う。

18. 情報提供に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 今回のアンケートを通じて、あきる野市で子育て支援に関し様々な取組が検討実施されていることが分かった。ただ、子育て世代側に情報が十分に行き届いていない感じがする。実際、今まで知らなかった支援、施設等があった。子育て家庭に向けて積極的にこれらのサービス、支援の情報を提供するようにしてもらえると助かります（共働きの都合上、どうしても自分たちの方から情報を仕入れる時間がなかったり、方法を知らなかったりするため）。

【小学生調査】

- ・ イベントや集いの情報をもっと分かりやすく発信してほしい（アプリで一覧が見たい）。

19. 経済的支援に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 出産から子育てまでとてもお金がかかるので金銭面の支援が一番助かります。（第一子、0歳児からの保育料無料、給食費無料、子育て支援金等）
- ・ オムツやミルクなどの支援を充実してほしい。
- ・ 低所得者や一人親ばかりに手当があるが、子どもの人数が多い世帯にももう少し手当があっても良いのでは。物価も上がり、困っている人は低所得者や一人親だけではない。

【小学生調査】

- ・ 低所得世帯でなくても手当等支援をしてほしい。
- ・ 市内で使えるクーポンや商品券を配布してほしい。
- ・ 第1子から支援をもっと増やしてほしい。
- ・ 子どもが多い世帯への支援をもっと行ってほしい。

20. 子どもについての講座に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 父親を対象とした子育て講座や子育てサークルがあると良い。
- ・ 発達障害についての講座や講演会を開催して、親が勉強できる機会を作してほしい。

21. 相談・交流に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 子育て支援総合窓口と子ども家庭支援センターの違いが分かりません。相談をしたくてもどこにすればいいのかわからず、電話をためらってしまうことがあった。
- ・ 子育てにしんどいと感じた時や誰かに助けてほしいと思った時に、もう少し早く支援につなげてもらえると嬉しいです。（心理相談の予約等）

【小学生調査】

- ・ 共働きが多いため親同士の交流がなく繋がりを作りにくい。

22. 安心・安全に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 歩行者用信号機がない所や事故が多発している横断歩道があり、子どもがいずれ小学校へ行く上で不安だと感じることもある。
- ・ 子どもが犯罪や事件に巻き込まれないよう安全対策や体制がしっかりしていると安心できる。
- ・ 街灯が少ないので増やしてほしい。

【小学生調査】

- ・ 人通りの少ない道や薄暗い道に防犯カメラ、街灯や看板を設置してほしい。
- ・ 公園や河川敷の雑草を整備し、見通しを良くしてほしい。

23. 道路・交通・移動に関すること

【就学前児童調査】

- ・ 坂が多く、歩道の幅が狭い等ベビーカーで出歩きにくいので道を整備してほしい。

【小学生調査】

- ・ 習い事の送迎などで使えるこどもタクシーがあればうれしい。
- ・ 子どもの交通事故が無くなるよう自転車の乗り方などについて高学年でも1年に1回は講習してほしい。

24. その他

【就学前児童調査】

- ・ 市役所の子どもに関する部署の時間を延長してもらえると手続の時にありがたい。仕事をしていると平日、市役所が開いている時に行けないので、休まなければならず困ってる。

【小学生調査】

- ・ 放課後に遊んだり、宿題したり、学習するための場所がほしい。
- ・ 図書館の開館時間を早くしてほしい。
- ・ あきる野市は自然が豊かなので、できるだけ子供には自然を感じて育ってほしい。

15. 小学校高学年(4年生から6年生)の児童本人の主な意見、要望等

1. 公園、遊び場等に関すること

- ・ 公園等の遊び場を増やしてほしい。
- ・ 球技ができる公園がほしい。
- ・ バasketコート・サッカーゴールを増やしてほしい。
- ・ 公園の遊具(高学年も遊べる遊具)を増やしてほしい。
- ・ 市民プールを直してほしい。
- ・ 雨の日でも遊べる場所がほしい。
- ・ 公園に安心して入れるトイレを作してほしい。
- ・ (自然)メタセコイアをいかした公園を造ってほしい。
- ・ 遊んでいても注意された。

2. 学校に関すること

- ・ 開校時間をもっと長くしてほしい。
- ・ 給食の内容(量、牛乳以外の飲み物等)や時間を改善してほしい。
- ・ 学校設備を直して欲しい。
- ・ 学校で動物を飼いたい。

3. イベント・行事に関すること

- ・ 休みの日に子どもだけで参加できるイベントをしてほしい。
- ・ 全年齢の子どもが遊べるお祭りをしてほしい。
- ・ 友達作りができる場やイベントを作してほしい。

4. 道路、移動に関すること

- ・ 通学路・歩道を広くしてほしい。
- ・ 自転車が行ける道をもっと増やしてほしい。

5. その他

- ・ 無料で宿題を教えてくれる施設を作してほしい。
- ・ 近所に児童館を作してほしい。

【調 査 票 等】



あなたの回答があきる野市の
子育て支援施策をより良いものにします！

あきる野市子育て支援アンケート調査(未就学児) ご協力をお願いします

市民の皆様には、日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。
このたび、あきる野市では、子育て支援施策のさらなる推進に向けて、2025年度から2029年度
までを計画期間とする新たな計画を策定するに当たり、市民の皆様の子ども・子育てに関する生活実態
やご意見・ご要望などを正確に把握する目的で、アンケート調査を実施することといたしました。

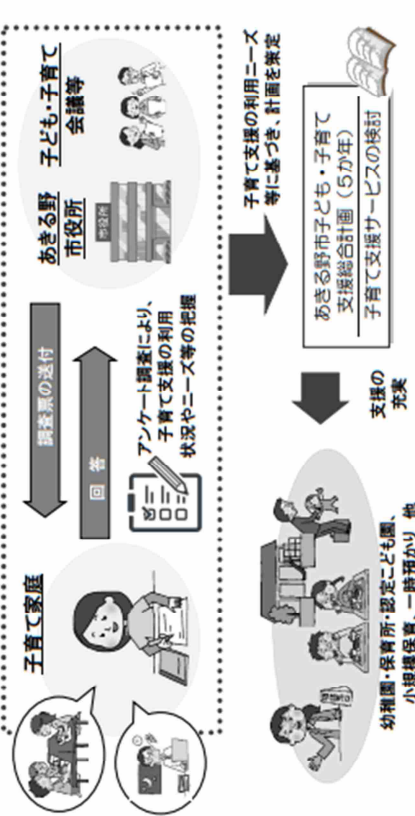
この調査は、住民基本台帳の中から小学校就学前のお子さん1,500名を無作為に選び、その保護者
を対象におこなうものです。回答については、今後の子育て支援施策を進めていくための基礎資料に
のみ利用させていただくものであり、また、無記名かつ統計的に処理を行いますので、個人が特定され
ることはありません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願い
申し上げます。

令和6年1月

あきる野市

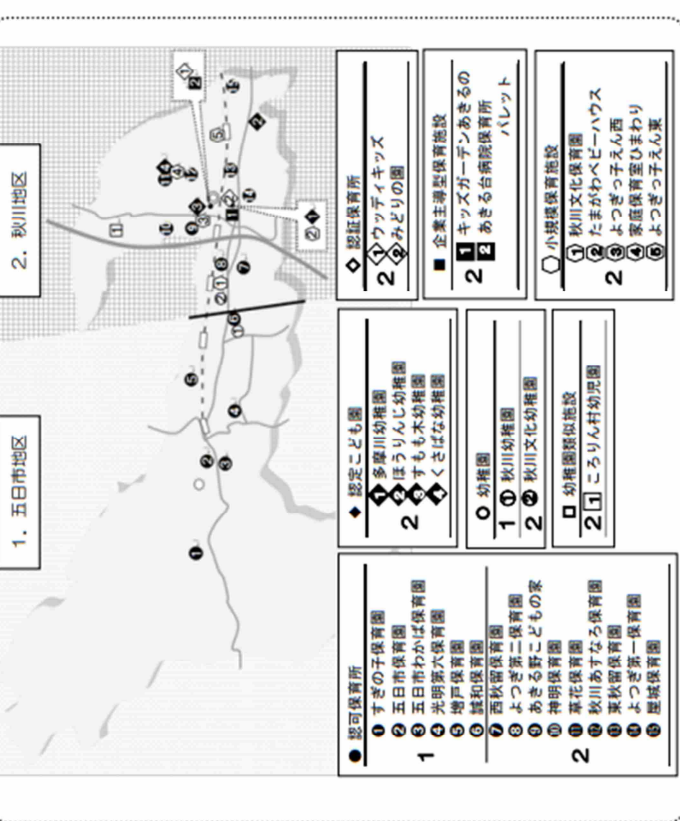
アンケート調査の流れ



調査に関するご質問、ご意見は…
あきる野市子ども家庭課子ども政策係
電話：042-558-1111（内線2681）
までお問い合わせください！

【教育・保育事業一覧】

■認可保育所（0歳～就学前）
就労などのため家庭で保育できない保護者に代わって児童を保育する施設
■認定こども園（1歳～就学前）
幼稚園（教育）と保育施設（保育）の機能や特徴を併せ持った施設
■幼稚園、幼稚園類似施設（3歳～就学前）
義務教育及び教育の基礎を培うものとして設けられた施設
■小規模保育施設（対象年齢は施設による）
就労などのため家庭で保育できない保護者に代わって児童を保育する施設
■認証保育所（0歳～就学前）
多様なニーズに柔軟に対応するため、東京都が独自の基準を設けて認証した保育施設
■企業主導型保育施設（対象年齢は施設による）
認可保育所と同等の基準を満たした事業所内保育施設
■児童発達支援施設（児童発達支援）（0歳～就学前）
日常生活における基本的な動作の指導、知識や技能の付与、集団生活への適応訓練などを行う施設
■ファミリー・サポート・センター（0歳～小学校6年生）
地域において育児の援助をしてほしい方と育児の援助をしたい方が会員となり、地域の中で助け合いながら子育ての相互援助活動を行う会員組織



あきる野市子育て支援アンケート調査(未就学児)

ご記入にあたってのお願い

1. 封筒の宛名のお子さんに、お答えください。
2. アンケートは、お子さんの保護者の方がお答えください。「あなた」とはアンケートには回答される方を表します。
3. 回答は、あてはまる数字・記号に○をつけていただく場合、数字を記入していただく場合、() 内に具体的な内容をご記入いただく場合があります。また、設問によって○をつける数が異なりますので、注意書きに沿ってご記入ください。
4. 送付状の裏面に「教育・保育事業一覧」を載せています。そちらを参照しながらご回答ください。
5. ご記入いただいたアンケートは、**令和6年1月31日(水)**までに、同封の返信用封筒に入れ、お近くの郵便ポストにご投函ください。切手は必要ありません。

1 お子さんご家族の状況について

問1 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(「○」は1つ)

1. 母親
2. 父親
3. その他 ()

問2 この調査票にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(「○」は1つ)

1. 配偶者・パートナーがいる
2. 配偶者・パートナーはいない

問3 お住まいの地区はどちらですか。(「○」は1つ)

1. 第1地区
 2. 第2地区
 3. 第3地区
 4. 第4地区
 5. 第5地区
 6. 第6地区
- 【第1地区】阿部、野田、小川、小川東一丁目～三丁目、二宮、二宮東一丁目～三丁目、平沢、平沢東、平沢西、切欠、秋葉一丁目～五丁目
【第2地区】阿部、野田、小川、小川東一丁目～三丁目、二宮、二宮東一丁目～三丁目、平沢、平沢東、平沢西、切欠、秋葉一丁目～五丁目
【第3地区】阿部、野田、小川、小川東一丁目～三丁目、二宮、二宮東一丁目～三丁目、平沢、平沢東、平沢西、切欠、秋葉一丁目～五丁目
【第4地区】阿部、野田、小川、小川東一丁目～三丁目、二宮、二宮東一丁目～三丁目、平沢、平沢東、平沢西、切欠、秋葉一丁目～五丁目
【第5地区】阿部、野田、小川、小川東一丁目～三丁目、二宮、二宮東一丁目～三丁目、平沢、平沢東、平沢西、切欠、秋葉一丁目～五丁目
【第6地区】阿部、野田、小川、小川東一丁目～三丁目、二宮、二宮東一丁目～三丁目、平沢、平沢東、平沢西、切欠、秋葉一丁目～五丁目

問4 いづれから、あきる野市にお住まいですか。年数もお答えください。(「○」は12。数字は1桁に1字)

1. 生まれながら、現在もあきる野市に住んでいる ⇒ 年
2. 市内で生まれて、一度市外に出たが、現在はあきる野市に住んでいる ⇒ 年
3. 市外から引っ越しをしてきて、現在はあきる野市に住んでいる ⇒ 年 ⇒ 問4-1 △

◆問4で「3. 市外から引っ越しをしてきて、現在はあきる野市に住んでいる」と答えた方にうかがいます。

- 問4-1 市外から引っ越しをしてきた理由は何ですか。(最もあてはまるもの1つに「○」)
1. 仕事のため(就職、転職など)
 2. 結婚・離婚のため
 3. 出産のため
 4. 親や親戚との同居のため
 5. 子育てのため
 6. その他 ()

問5 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字は1桁に1字)

宛名のお子さんの生年月月 平成 年 月 日生まれ

問6 宛名のお子さんに兄弟姉妹はいますか。「いる」場合は、お子さんの人数、小学生の兄弟姉妹の有無及び一番下の子の年齢もお答え下さい。(「○」は1つ。数字は1桁に1字)

1. いる ⇒ ①お子さんの人数 (宛名のお子さんを含め) 人
②小学生の兄弟姉妹 [ア. いる イ. いない] (「○」は1つ)
③一番下の子の年齢 (令和5年4月1日時点) 歳
2. いない

問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にに行っているのはどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(「○」は1つ)

1. 父母ともに
2. 主に母親
3. 主に父親
4. 主に祖父母
5. その他 ()

2 子どもの育ちをめぐる環境について

問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものをすべてに「○」)

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時又は用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に友人・知人にみてもらえる
4. 緊急時又は用事の際には友人・知人にみてもらえる
5. いずれもない

問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所はありますか。(「○」は1つ)

1. いる/ある ⇒ 問9-1 △
2. いない/ない

◆問9で「1. いる/ある」と答えた方にうかがいます。

問9-1 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人や場所は、誰(どこ)ですか。
(あてはまるものをすべてに「○」)

1. 祖父母等の親族
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 民生委員・児童委員
5. かかりつけの医師
6. 子育て支援総合窓口
7. 子ども家庭支援センター相談係
8. 子ども家庭支援センター母子保健係
9. 子育てひろば・児童館
10. 幼稚園や保育所などの教育・保育施設
11. 障がい者支援課
12. 障がい者基幹相談支援センター
13. 教育相談所
14. その他 ()

3 お子さんの保護者の就業状況について

この項目に出てくる「フルタイム」、「パート・アルバイト等」とは



■フルタイム
1週5日程度・1日8時間
程度の就業



■パート・アルバイト等
フルタイム以外の就業

問 10 宛名のお子さんの保護者の現在の就業状況(自営業、家族従事者を含む)をお答えください。
(母親又は父親のそれぞれにつき「○」は1つ)

※母子家庭の方は父親の欄、父子家庭の方は母親の欄の記入は不要です。

母親	父親
1 就業している(フルタイム)	⇒ 問 10-1 △
2 就業している(フルタイム)が産休・育休・介護休業中	
3 就業している(パート・アルバイト等)	
4 就業している(パート・アルバイト等)が産休・育休・介護休業中	
5 以前は就業していたが、現在は就業していない	
6 これまで就業したことがない	

⇒ 問 10-1 △
⇒ 問 10-2 △
⇒ 問 10-3 (次ページ) △

◆問 10 で母親または父親について「1」～「4」と答えた方(就業している方)にうかがいます。

問 10-1 お子さんの保護者の就業に係る以下の事項についてお答えください。
(時間は24時間制で一律に一字)

※就業日数、就業時間、家を出る時間、帰宅時間など一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

	母親	父親
①勤務地(それぞれ「○」は1つ)	1. 市内 2. 市外	1. 市内 2. 市外
②1週当たりの就業日数	日 時間	日 時間
③1日当たりの実就業時間(就業時間をきむ)	時間 時刻	時間 時刻
④家を出る時間(自営業、家族従事者の場合は開始時間)	時刻	時刻
⑤帰宅時間(自営業、家族従事者の場合は終了時間)	時刻	時刻

◆問 10 で母親または父親について「3」または「4」と答えた方(パート・アルバイト等で就業している方)にうかがいます。

問 10-2 フルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ「○」は1つ)

母親	父親
1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3 パート・アルバイト等で就業を続けることを希望	3 パート・アルバイト等で就業を続けることを希望
4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4 パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

◆問 10 で母親または父親について「5」または「6」と答えた方(就業していない(したことがない)方)にうかがいます。

問 10-3 今後、就業したいという希望はありますか。(それぞれ「○」は1つ。数字は一律に一字)

※「1. ある」「2. ない」の「1」「2」は、お子さんが何歳になっても就業したいと考えているか年齢ごと記入ください。

母親	父親
1. ある ⇒ 【希望時期】(「○」は1つ) ア. 1年より先、一番下の子どもの □□□□歳になったときに就業 したい イ. すぐにも、もしくは1年以内 に就業したい ⇒ 問 10-3-1 △	1. ある ⇒ 【希望時期】(「○」は1つ) ア. 1年より先、一番下の子どもの □□□□歳になったときに就業 したい イ. すぐにも、もしくは1年以内 に就業したい ⇒ 問 10-3-1 △
2. ない	2. ない

◆問 10-3 で母親または父親について「1. ある」と答えた方にうかがいます。

問 10-3-1 希望する就業形態はどちらですか。(それぞれ「○」は1つ。数字は一律に一字)

※「2. パート・アルバイト等」「3. 自営業」を希望する場合は、就業したい日数・時間数も記入ください。

母親	父親
1. フルタイム 2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外) ⇒ 【希望する就業時間等】 1週当たり □□ 日、 1日当たり □□ 時間	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等(「フルタイム」以外) ⇒ 【希望する就業時間等】 1週当たり □□ 日、 1日当たり □□ 時間

4 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

平日に、定期的に利用している幼稚園や保育所など、「定期的な教育・保育事業」として、問 11-1 に示した事業の利用についてうかがいます。送付状裏面の「教育・保育事業一覧」を参考に回答ください。

問 11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか。(「○」は1つ)

1. 利用している ⇒ 問 11-1 ～ 問 11-4 △	2. 利用していない ⇒ 問 11-5、問 11-6 (6、7ページ) △
----------------------------------	--



◆問 11 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 11-1 お子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。(あてはまるものすべてに「○」)
※年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。

1. 認可保育所 (保育園)
2. 認定こども園 (保育利用)
3. 幼稚園・認定こども園 (教育利用のみ)
4. 幼稚園・認定こども園 (教育利用に加え、ほぼ毎日預かり保育を利用)
5. 幼稚園・認定こども園 (教育利用に加え、必要な時だけ預かり保育を利用)
6. 小規模保育施設
7. 認定保育所
8. 企業主導型保育施設
9. 幼稚園類似施設
10. 障害児通所支援 (児童発達支援など)
11. その他 ()

◆問 11 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 11-2 平日に定期的に利用している教育・保育事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

なお、問 11-1 で「○」を3つ以上つけた場合は、利用頻度の多い2事業についてお答えください。

(時間は24時間制で一律に一字)

※1日当たり何時間(何時から何時まで)かもご記入ください。記入例: 9時~18時

※現在、希望通りに利用できている場合は、①、②ともに同じ数字をご記入ください。

i. 問 11-1 で選択した事業番号									
①現在	1週当たり	日	1日当たり	時間	時間	時	時	時	時
②希望	1週当たり	日	1日当たり	時間	時間	時	時	時	時
ii. 問 11-1 で選択した事業番号									
①現在	1週当たり	日	1日当たり	時間	時間	時	時	時	時
②希望	1週当たり	日	1日当たり	時間	時間	時	時	時	時

◆問 11 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 11-3 現在、主に利用している教育・保育事業の実施場所はどこですか。送付状裏面の「教育・保育事業一覧」の地図を参照し、お答えください。(「○」は1,2)

※「3. 市外」に「○」をした場合は、市区町村名と理由もご記入ください。

問 11-1 で選択した事業番号(主に利用しているもの)

1. 五日市地区	3. 市外 (市区町村名:)
2. 秋川地区	⇒ 市外の事業を利用している理由 ()

◆問 11 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 11-4 現在、主に利用している教育・保育事業についてどの様に感じていますか。次の①から⑫のそれぞれについて、あてはまるもの1つに「○」をしてください。

	満足	ほぼ満足	やや不満	不満	該当なし(実施していない)
①子どもへの接し方、日常の遊び(保育内容)	1	2	3	4	5
②行事(保護者参観、運動会等)	1	2	3	4	5
③食事(おやつ、給食等)	1	2	3	4	5
④病気やケガの時の対応	1	2	3	4	5
⑤保護者への情報伝達	1	2	3	4	5
⑥悩み事等への相談対応	1	2	3	4	5
⑦保護者の苦情・要望・意見への対応	1	2	3	4	5
⑧利用者間のネットワークづくり	1	2	3	4	5
⑨安全対策	1	2	3	4	5
⑩衛生対策	1	2	3	4	5
⑪施設・環境(園舎、園庭、玩具等)	1	2	3	4	5
⑫職員体制	1	2	3	4	5

◆問 11 で「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

問 11-5 現在の状況で、利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに「○」。数字は一律に一字)
※「1. 子どもがまだ小さいため」に「○」をした方は、お子さんが何歳になったら利用し、父と考えているか年齢も記入ください。

1. 子どもがまだ小さいため ⇒ 歳くらいになったら利用しようと考えている
2. 利用する必要がある(子どもの母親又は父親が就労していないなど)
3. 子どもの祖父母や親戚の人がみついている
4. 近所の人や父母の友人・知人がみついている
5. 利用したいが、教育・保育事業に空きがない
6. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
7. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
8. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
9. その他 ()

◆問 11 で「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

問 11-6 あなたやあなたの配偶者の現在の働き方が変わった場合、お子さんの平日の教育・保育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業はどれですか。(あてはまるものすべてに「○」)

※送付状裏面の「教育・保育事業一覧」を参考にお答えください。

1. 認可保育所 (保育園)
2. 認定こども園 (保育利用)
3. 幼稚園・認定こども園 (教育利用のみ)
4. 幼稚園・認定こども園 (教育利用に加え、ほぼ毎日預かり保育を利用)
5. 幼稚園・認定こども園 (教育利用に加え、必要な時だけ預かり保育を利用)
6. 小規模保育施設
7. 認証保育所
8. 企業主導型保育施設
9. 幼稚園類似施設
10. 障害児通所支援 (児童発達支援など)
11. その他 ()
12. 特になし

◆《教育・保育事業の利用の有無に関わらず》全員にうかがいます。

問 12 宛名のお子さんの平日の教育・保育事業を選ばれた際に重視する点はどのようなことですか。(「○」は5つまで)

1. 自宅の近く
2. 子どもが通来通う小学校区内
3. 母親の職場の近く
4. 父親の職場の近く
5. 駅の近く
6. 兄弟姉妹が通っている
7. 夜間や休日、延長保育に対応している
8. 乳児保育を実施している
9. 病児や病後児の対応を行っている
10. 施設・設備が清潔で整っている
11. 送迎サービスを行っている
12. 給食を提供している
13. 地域の評判がよい
14. なるべく費用がかからない
15. 園のスタッフ等の対応や園の印象がよい
16. さまざまな教育プログラムを提供している
17. 行事が充実している
18. その他 ()

◆《教育・保育事業の利用の有無に関わらず》全員にうかがいます。

問 13 あなたは、乳幼児期の教育・保育にどのようなことを期待しますか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 集団の中で社会性や協調性を身につけられる
2. 親から離れて過ごすことで自立心が養われる
3. 小学校入学までに必要な幼児教育を受けられる
4. 親とは別の立場の大人から遊びや学びを受けられる
5. 大人の目が届く場所で安心して遊ぶことができる
6. 地域の子どもたちと一緒に過ごすことができ、友だちができる
7. その他 ()

◆《教育・保育事業の利用の有無に関わらず》全員にうかがいます。

問 14 現在、国では、労働などの保育要件がなくても、3歳未満の子どもを定期的に保育所等で預かる制度の導入を検討しています。この制度が始まった場合に利用したいと思いませんか。(「○」は1つ)

「利用したい」場合は、希望する日数、時間数及び時間帯をお答えください。

※サービスの利用にあたっては、一定の利用料が発生する場合があります。また、利用日数や利用時間数の上限については未定ですが、現時点における希望としてお答えください。

① 1. 週当たり何回もあてはまるもの1つに「○」	【 ア. 1日 イ. 2日 ウ. 3日以上 】
2. 利用したい ⇒ ② 1日当たり何回もあてはまるもの1つに「○」	【 ア. 1時間 イ. 2時間 ウ. 3時間 エ. 4時間以上 】
③ 時間帯(何回もあてはまるもの1つに「○」)	【 ア. 午前 イ. 午後 ウ. 午前と午後の両方 】
3. 利用したいと思わない	

⇒ 問 14-1 △

◆問 14 で「1. 利用したい」と答えた方にうかがいます。

問 14-1 利用したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 子どもの育ちのために家庭とは異なる経験をする機会を得るため
2. 子どもが同じ年頃の子と触れ合うことによって成長できると考えたため
3. 専門的な理解を持つ人の子どもと接してもらうことにより子どもの接し方についての気づきや自信につながると思ったため
4. 育児に関する孤立感・不安感の解消につながると思ったため
5. 保育士による育児相談やアドバイスを受けたいため
6. その他 ()

5 お子さんの病気の際の対応について

◆問 11 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 15 この1年間に、宛名のお子さんが、病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかったことはありませんか。(「○」は1つ)

1. あった ⇒ 問 15-1 △	2. なかった
-------------------	---------

◆問 15 で「1. あった」と答えた方にうかがいます。

問 15-1 その場合の対処方法はどれですか。それぞれの日数もお答えください。
(あてはまるものすべてに「○」。数字は一律に一字)

	過去1年間の日数	
1. 父親が休んだ	□ □	日
2. 母親が休んだ	□ □	日
3. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ □	日
4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□ □	日
5. 病児・病後児保育を利用した	□ □	日
6. ベビーシッターを利用した	□ □	日
7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□ □	日
8. ファミリー・サポート・センターを利用した	□ □	日
9. その他 ()	□ □	日

■病児・病後児保育とは

お子さんが病中や病後の回復期にあり、幼稚園・保育園・小学校等で集団生活を送ることが出来ず、保護者の方が仕事を休めないなどの事情により、家庭での保育を行うことが困難なとき、一時的にお子さんを預かり、ご家族に代わり、専門の保育士・看護師による保育を行う事業です。

あきる野市では、病中または病後の回復期にある生後6か月から小学校3年生（9歳）までの児童を対象に「秋川流域病児・病後児保育室 ぬくもり」で実施しています。

【利用時間】8：00～18：00（月～金）

【利用料】1人当たり 1日2,000円

※ファミリー・サポート・センターについては、送付状裏面の「教育・保育事業一覧」参照

◆問 15-1で「1. 父職が休んだ」または「2. 母職が休んだ」と答えた方にうかがいます。

問 15-1-1 その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いませんか。利用したいと思う場合は、日数もお答えください。（「○」は1つ。数字は1枠に1文字）

※病児・病後児のための事業等の利用には、事前登録やかかりつけの医師等の受診が必要となります。

1. 利用したいと思う ⇒ ☐ ☐ ☐ 日 2. 利用したいとは思わない ⇒ ☐ ☐ ☐ 日 ⇒ 問 15-1-1-1 △

◆問 15-1-1で「2. 利用したいとは思わない」と答えた方にうかがいます。

問 15-1-1-1 利用したいとは思わない理由は何か。（あてはまるものすべてに「○」）

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 事業の利便性がよくない（立地や利用可能な時間など）
3. 父親又は母親が仕事を休んで対応する
4. 事業の利用に不安がある
5. 利用料がかかる・高い
6. その他（ ）

⑥ お子さんの土曜日・休日や長期休業中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問 16 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。「利用したい」場合は、その時間帯もお答えください。（一時的な利用は除きます。親族・知人による預かりは含みません。）

※送付状裏面の「教育・保育事業一覧」を参考にお答えください。

①土曜日（「○」は1つ。時間は24時間制で1枠に1文字）

1. 利用する必要がある
2. ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯：☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで
3. 月に1、2回利用したい ⇒ 利用したい時間帯：☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで ⇒ 問 16-1 △

②日曜日・祝日（「○」は1つ。時間は24時間制で1枠に1文字）

1. 利用する必要がある
2. ほぼ毎週利用したい ⇒ 利用したい時間帯：☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで
3. 月に1、2回利用したい ⇒ 利用したい時間帯：☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで ⇒ 問 16-1 △

◆問 16で①土曜日はまた②日曜日・祝日について「3. 月に1、2回利用したい」と答えた方にうかがいます。

問 16-1 毎週ではなく、月に1、2回利用したい理由は何か。（あてはまるものすべてに「○」）

1. 月に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いをするため
4. リフレッシュのため
5. 子ども同士で遊ぶ環境がないため
6. その他（ ）

◆問 11-1で「3. 幼稚園・認定こども園（教育利用のみ）」、「4. 幼稚園・認定こども園（教育利用に加え、ほぼ毎日預かり保育を利用）」、「5. 幼稚園・認定こども園（教育利用に加え、必要な時だけ預かり保育を利用）」、「9. 幼稚園預け施設」に「○」を記入した方にうかがいます。

問 17 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休業期間中に教育・保育事業の利用を希望しますか。「利用したい」場合は、その時間帯もお答えください。（「○」は1つ。時間は24時間制で1枠に1文字）

1. 利用する必要がある
2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい ⇒ 利用したい時間帯：☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで
3. 休みの期間中、週に数回利用したい ⇒ 利用したい時間帯：☐ ☐ 時から ☐ ☐ 時まで ⇒ 問 17-1 △

◆問 17で「3. 休みの期間中、週に数回利用したい」と答えた方にうかがいます。

問 17-1 毎日ではなく、週に数回利用したい理由はなんですか。（あてはまるものすべてに「○」）

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いをするため
4. リフレッシュのため
5. 子ども同士で遊ぶ環境がないため
6. その他（ ）

⑦ お子さんの不規則的な教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 18 宛名のお子さんについて、この1年間に、私用、父親又は母親の通院、不定期の就労等の目的で、親族や知人に預けたり、不定期で教育・保育事業等を利用したりしたことがありますか。（あてはまるものすべてに「○」）

1. （問18を答える）親族や知人に預けたことがある ⇒ 過去1年間で ☐ ☐ ☐ 日
2. 不定期で教育・保育事業等を利用したことがある、又は利用したかったができなかった ⇒ 問 18-1 △
3. 不定期で教育・保育事業等を利用することは考えなかった ⇒ 問 18-2 △

◆問 18で「2. 不定期で教育・保育事業等を利用したことがある、又は利用したかったができなかった」と答えた方にうかがいます。

問 18-1 この1年間に利用した、又は利用したかった事業等はどれですか。その日数もお答えください。（あてはまるものすべてに「○」。数字は1枠に1文字）

過去1年間の利用日数	利用したかったができなかった日数
1. 乳幼児一時預かり事業	☐ ☐ ☐ 日
2. 幼稚園・認定こども園の預かり保育	☐ ☐ ☐ 日
3. ファミリー・サポート・センター事業	☐ ☐ ☐ 日
4. 子どもショートステイ事業	☐ ☐ ☐ 日
5. ベビーシッター	☐ ☐ ☐ 日
6. その他（ ）	☐ ☐ ☐ 日

◆問 18 で「3. 不定期で教育・保育事業等を利用することは考えなかった」と答えた方にうかがいます。

問 18-2 利用を考えなかったのはなぜですか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 特に利用する必要がない	
2. 利用したい事業が地域にない	
3. 事業の利用に不安がある	
4. 事業の利便性がよくない(立地や利用可能な時間など)	
5. 利用料がかかる・高い	
6. 自分が事業の対象者になるのかわからない	
7. 事業の利用方法(手続等)がわからない	
8. その他()	

■乳幼児一時預かりとは
保護者が疾病、出産、親の介護、育児疲れでリフレッシュしたいときなどにお子さんを預かりするサービスです。あきる野ルピア2階と市内私立保育所で行っています。

△あきる野ルピア2階
【対象】市内在住の生後6か月から小学校入学前までの乳幼児(原則、保育所等に入所している児童を除く)
【利用時間】①10:00~12:00 ②12:00~14:00 ③14:00~16:00
【利用料】1人当たり 2時間 1,000円

△市内私立保育所
【対象】市内在住の生後57日から小学校入学前までの乳幼児(保育所に入所している児童を除く)
【利用時間】8:30から18:00までの1日8時間以内
【利用料】1人当たり 0歳児の場合: 4時間以内 2,000円、4時間を超える 3,000円
1歳児以上の場合: 4時間以内 1,500円、4時間を超える 2,500円

■子どもショートステイとは
保護者が出張、疾病、冠婚葬祭、その他育児疲れの時などにお子さんを施設や協力家庭でお預かり(宿泊可)するサービスです。

【対象】市内在住の生後57日から小学校6年生まで
【利用期間】1回の利用につき7日以内
【利用料】1人当たり 11時間未満 3,000円、11時間以上 4,000円
※ファミリー・サポート・センターについては、送付表裏面の「教育・保育事業一覧」参照

問 19 宛名のお子さんについて、私用、父親又は母親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい定期的に問 18-1 の事業等を利用したいですか。「利用したい」場合はその日数もお答えください。

1. 利用したい
⇒ 【内訳】(あてはまるものすべてに「○」)

ア. 私用(賞状、子ども兄弟姉妹を含む)や父親・母親の悪い事等、リフレッシュ目的	計	日
イ. 学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や父親・母親の通院 等		日
ウ. 不定期の就労		日
エ. その他()		日

2. 利用する必要はない

問 20 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。「あった」場合は、この1年間の対処方法を選択し、それぞれの宿泊数もお答えください。

↓「○」は1,2	対処方法(あてはまるものすべてに「○」)	年間の宿泊数 (数字は1桁に1字)
1. あった ⇒	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった ⇒ 問 20-1 △	☐ ☐ 泊
	イ. 子どもショートステイを利用した	☐ ☐ 泊
	ウ. イ以外の保育事業(認可外保育施設、ハピージャマー等)を利用した	☐ ☐ 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	☐ ☐ 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	☐ ☐ 泊
2. なかった	カ. その他()	☐ ☐ 泊

◆問 20 で「1. あった」-「7. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 20-1 その場合に預かってもらいたい状況でしたか。「○」は1,2

1. 預かってもらいやすかった (特に預かってもらいにくくはなかった)
2. どちらかというと、預かってもらいにくかった
3. とても預かってもらいにくかった



8 お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問 21 地域の子育て支援に関する事業などについて、それぞれ知っているか、これまでに利用したことがあるか、今後利用したいかをお答えください。また、今後市が重点的に取り組むことを期待するものを3つまでお答えください。

※事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

	A知っている			Bこれまでに利用したことがある			C今後利用したい			D重点的な取組を希望する3つまで「O」
	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	はい	いいえ	わからない	
①ハッピーベビークラブ事業(母育学校・育児相談)	1	2	1	2	1	2	1	2	1	1
②育児相談や産科教室等の母子保健事業	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
③家庭教育に関する学級・講座	1	2	1	2	1	2	1	2	1	3
④幼稚園や保育所の園庭等の開放	1	2	1	2	1	2	1	2	1	4
⑤幼稚園・認定こども園の未就園児事業	1	2	1	2	1	2	1	2	1	5
⑥児童館幼児クラブ事業	1	2	1	2	1	2	1	2	1	6
⑦子育て支援総合窓口	1	2	1	2	1	2	1	2	1	7
⑧子ども家庭支援センター相談係	1	2	1	2	1	2	1	2	1	8
⑨子ども家庭支援センター母子保健係	1	2	1	2	1	2	1	2	1	9
⑩教育相談所	1	2	1	2	1	2	1	2	1	10
⑪こども相談所(児童館内)	1	2	1	2	1	2	1	2	1	11
⑫あきる野市子育て支援ガイドブック	1	2	1	2	1	2	1	2	1	12
⑬子育て応援サイト	1	2	1	2	1	2	1	2	1	13
⑭子育て応援アプリ	1	2	1	2	1	2	1	2	1	14
⑮るのキッズ予防接種情報サービス	1	2	1	2	1	2	1	2	1	15
⑯メール配信サービス	1	2	1	2	1	2	1	2	1	16
⑰るのキッズ通園	1	2	1	2	1	2	1	2	1	17
⑱赤ちゃんふらっと*	1	2	1	2	1	2	1	2	1	18

※授乳やおむつ替え等ができる東京都内の授乳室・おむつ替えスペースで、あきる野市には11か所あります。

問 22 宛名のお子さんは、現在、あきる野市の子育てひろばを利用していますか。「利用している」場合は、おおよその利用回数(頻度)もお答えください。「O」は1つ。数字は一律に一字)

- 利用している ⇒ 1か月当たり 回程度 ⇒ 問22-1 △
- 利用していない ⇒ 問22-2、問22-3 △

■子育てひろばとは

保護者と就学前の乳幼児が、いっしょに遊びながら、交流や情報交換を図れる場所です。あきる野市には、「子育てひろば いづみいち」「子育てひろば 秋川あすなろ」「子育てひろば りん」があります。

【対象】 小学校就学前までの子どもとその保護者 【利用時間】 施設により異なります

◆問 22 で「1. 利用している」と答えた方にうかがいます。

問 22-1 今後利用回数を増やしたいですか。「O」は1つ。数字は一律に一字)

- 利用回数を増やしたい ⇒ 1か月当たり 回程度利用したい
- 利用回数を増やしたいとは思わない

◆問 22 で「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

問 22-2 利用していないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに「O」)

- 場所が遠く利用しづらい
- 利用時間や日数が利用しづらい
- 知人がいないので行きづらい
- 子育てひろばについて知らなかった
- 利用手続のやり方が分からない
- 親同士の付き合いがわずらわしい
- 子育てひろばへ通うのが面倒
- 子どもが大きくなって必要ない
- その他()
- 特に利用する必要性を感じない

◆問 22 で「2. 利用していない」と答えた方にうかがいます。

問 22-3 今後利用してみたいですか。「O」は1つ。数字は一律に一字)

- 利用したい ⇒ 1か月当たり 回程度利用したい
- 利用したいとは思わない

9 お子さんの小学校就学時の放課後の過ごし方について

宛名のお子さんが小学校の低学年(1～3年生)又は高学年(4～6年生)になったときのことについてかかいます。

問 23 放課後(平日の小学校終了後の時間)をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。その日数についても併せてお答えください。(数字は一律に一字)

※記入は先のことになりますので、現在お持ちのイメージでお答えください。

小学校低学年(1～3年生)になったとき ↓(あてはまるものすべてに「○」)	小学校高学年(4～6年生)になったとき ↓(あてはまるものすべてに「○」)
自宅	1 ⇒ 週に ☐ 日くらい
祖父母宅や友人・知人宅	2 ⇒ 週に ☐ 日くらい
習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	3 ⇒ 週に ☐ 日くらい
学童クラブ	4 ⇒ 週に ☐ 日くらい
放課後子ども教室	5 ⇒ 週に ☐ 日くらい
児童館	6 ⇒ 週に ☐ 日くらい
ファミリー・サポート・センター	7 ⇒ 週に ☐ 日くらい
放課後等デイサービス	8 ⇒ 週に ☐ 日くらい
図書館や体育館などの公共施設	9 ⇒ 週に ☐ 日くらい
その他(公園など)	10 ⇒ 週に ☐ 日くらい

■学童クラブとは

保護者が就労等により居間家庭にいない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を提供し、その健全育成を図ることを目的に設置しています。

【対象】小学校1年生～6年生

【利用時間】平日：下校時～19:00 土曜日・学校休業日：8:00～19:00

【利用料】1人当たり 月額3,000円 (別途おやつ代 月額1,200円)

18:00～19:00は延長料金あり

■放課後子ども教室とは

子どもたちが安全で安心して放課後の活動場所を提供する事業です。学校の施設等を利用し、地域の方などに協力をいただきながら実施しています。あきる野市では、東秋留小学校、多西小学校、西秋留小学校、屋敷小学校、南秋留小学校、一の谷小学校、岸花小学校、五日市小学校、播磨小学校の9校で実施しています。

【対象】各小学校の1年生～6年生

【利用時間】毎週水曜日 放課後～16:00

(学校休業日は除きます。学校行事等の理由で中止になる場合もあります。)

■児童館とは

子どもたちに健全な遊び場の提供、仲間づくりや行事等を行っています。

【対象】0歳～18歳未満(乳幼児または配慮が必要な方は、保護者の付き添いが必要です)

【利用時間】平日・土曜日：9:00～17:30

■放課後等デイサービスとは

放課後または休日に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流の促進などを行います。

【対象】障がいのある小学校1年生～高校3年生

【利用時間】施設により異なります

【利用料】世帯の収入により負担上限額が設定されています

※ファミリー・サポート・センターについては、送付表裏面の「教育・保育事業一覧」参照

10 育児休業や短時間勤務制度など家庭と職場の両立について

問 24 宛名のお子さんが生まれた時に育児休業を取得しましたか。(母親又は父親のそれぞれにつき「○」は1つ)

母親	父親
1	1 育児休業を取得していない ⇒ 問 24-1 △
2	2 育児休業取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用した
3	3 育児休業取得後に職場復帰し、短時間勤務制度を利用しなかった
4	4 育児休業を取得中である
5	5 育児休業取得中に産前産後休業を利用した
6	6 産前産後休業を利用しなかった

◆問 24 で母親または父親に「1. 育児休業を取得していない」と答えた方にうかがいます。

問 24-1 育児休業を取得していないのはなぜですか。(それぞれあてはまるものすべてに「○」)

母親	父親
1	1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2	2 仕事に忙しかつた
3	3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4	4 育児休業を取ると仕事に返るのが遅れそうだった
5	5 育児休業を取ると昇給・昇格などが遅れそうだった
6	6 育児休業を取ると収入減となり、経済的に苦しくなる
7	7 保育所などに預けることができた
8	8 配偶者が育児休業制度を利用した
9	9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえするなど、制度を利用する必要がなかった
10	10 子育てや家事に専念するため退職した
11	11 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めなかった)
12	12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13	13 育児休業を取得できることを知らなかった
14	14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15	15 その他 ()

問 25 あなたにとって、仕事と子育てを両立させる上で課題だと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 残業や出張が入ること
2. 子どもや自分が病気をやがをしたときに代わりに子どもをみてくれる人がいないこと
3. 配偶者の協力が得られないこと
4. 自分や配偶者の親などの理解が得られないこと
5. 職場に子育てを支援する制度がないこと (育児休業、子どもの看護休暇、短時間勤務など)
6. 職場の理解や協力が得られないこと
7. 子どものほかに自分や配偶者の親などの介護をしなければならぬこと
8. 子どもを預かってくれる保育所などがみつからないこと
9. 子どもと接する時間が少ないこと
10. その他 ()

11 地域とのかかわりについて

問 26 あなたは、普段、ご近所の人との程度の付き合いがありますか。(「○」は1つ)

1. ほとんど顔も知らない
2. 顔は知っているが、声をかけたりしたことはない
3. 顔をあわせればあいさつをする
4. 家族間で親しい交流がある

問 27 あなたは、町内会・自治会に加入していますか。(「○」は1つ)

1. 加入している
2. 加入していない

問 28 あなたは、子育てグループなどの自主的なグループ活動に参加していますか。(「○」は1つ)

1. 参加している
2. 現在は参加していないが、今後機会があれば参加したい
3. 現在参加しておらず、今後も参加するつもりはない

⇒ 問 28-1 △

◆問 28 で「2」または「3」と答えた方(現在参加していない方)にうかがいます。

問 28-1 現在参加していないのはなぜですか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 活動の情報や参加方法を知らないから
2. 身近な場所に参加できる活動がないから
3. 活動に参加する余裕や時間がないから
4. 気軽に参加したり、やめたりできないから
5. 人間関係がわずらわしいから
6. 特に必要を感じないから
7. その他()

問 29 子育てに関して、地域の人にとのよいことを望みますか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 子どもや親子連れに対して気軽にあいさつしたり声をかけてほしい
2. 子どもが危険なことや悪いことをしたときには注意をしてほしい
3. 話し相手や相談相手になってほしい
4. 用事があるときなどに子どもを預かってほしい
5. 家事や子どもの世話を手伝ってほしい
6. 子どもと一緒に遊んだり、絵本を読んだりしてほしい
7. 親子で気軽に参加できるイベント等を企画・運営してほしい
8. 子育てに関してあまり干渉しないでほしい
9. その他()
10. 特にない

12 子育て全般について

問 30 あさる野市における子育ての環境や支援への満足度はいかがですか。(「○」は1つ)

- | 満足度が低い | ← | 2 | 3 | 4 | → | 満足度が高い |
|--------|---|---|---|---|---|--------|
| 1 | | | | | | 5 |

問 31 あなたは、子育てを楽しんでいますか。(「○」は1つ)

1. 楽しいと感じることの方が多い
2. 楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい
3. 辛いと感じることの方が多い
4. その他()
5. わからない

問 32 子育てに関して不安や負担を感じていますか。(「○」は1つ)

1. 非常に不安や負担を感じる
2. なんとなく不安や負担を感じる
3. あまり不安や負担などは感じない
4. その他()

問 33 子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。(あてはまるものすべてに「○」)

1. 子どもの発育・発達に関すること ⇒ 問 33-1 △
2. 食事や栄養に関すること
3. 卒乳やトレーニングに関すること
4. 子どもの兄弟姉妹との関係に関すること
5. 子どもの友だち付き合い(いじめ等を含む)に関すること
6. 子どもとの接し方に自信が持てないこと
7. 子どもとの時間を十分にとれないこと
8. 子どもを叱りすぎているような気がする
9. 子育てにかかる出費がかさむこと
10. 地域の子育て支援サービスの内容や利用方法、申込方法がよくわからないこと
11. 子育てによる身体的疲れが大きいこと
12. 仕事や自分のやりたいことが十分にできないこと
13. 子育てに関して配偶者・パートナーと意見が合わないこと
14. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと
15. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと
16. 子育ての大変さを身近な人が理解してくれないこと
17. 自分の子育てについて、親族・近所の人・隣近等のまわりの目が気になること
18. その他()
19. 特になし

◆問 33 で「1. 子どもの発達・発達に貢献することと答えた方にうかがいます。」

問 33-1 宛名のお子さんの発達や育ちについて、現時点で気になることや心配なことはありますか。次の①から⑨のそれぞれについて「○」をください。

気になること、心配なこと	ない	時々ある	よくある
①言葉の遅れ 例) 発音がはっきりしない、知っている言葉が少ない 等	1	2	3
②運動面の遅れ 例) 歩き始めが遅い、歩行が不安定 等	1	2	3
③生活の基本動作 例) 衣類の着脱、トイレ、就寝時間が遅い 等	1	2	3
④食事 例) アレルギー、偏食、食べるのに時間がかかる 等	1	2	3
⑤性格 例) 怒りっぽい、不安を感じやすい 等	1	2	3
⑥心理的な不安定、突発的な振る舞い 例) 些細なことでも泣く、ある状況にとても怖がる、パニックを起こす 等	1	2	3
⑦行動 例) 落ち着きがない、集団行動を取れない 等	1	2	3
⑧友人関係 例) 友人と上手く遊べない、友達を作るのが苦手 等	1	2	3
⑨保育園、幼稚園等との関係 例) 保育士の指導、いじめ、保育・学習環境に馴染めない 等	1	2	3

問 34 あなたは、あきる野市に対し、どのような子育て支援サービスを充実させたいですか。
(あてはまるものすべてに「○」)

1. 親子が安心して集まれる公園などの屋外施設の整備	
2. 親子が安心して集まれる幼稚園や保育園、認定こども園の運動場等の開放	
3. 親子が安心して集まれるつどいの広場などの施設・サービスの整備・充実	
4. オムツ替えや授乳のためのスペースづくり、歩道の段差解消などの「子育てのバリアフリー化」	
5. 子育てに困ったときの相談体制の充実	
6. 子育て支援に関する情報提供の充実	
7. 子育てサークル活動への支援の充実	
8. 保育園や学童クラブなどの子どもを預ける施設・サービスの充実	
9. 子どもの一時預かりなどの保育サービスの充実	
10. 労働などの保育要件にかかわらず誰でも気軽に利用できる子育て支援サービスの充実	
11. 小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備	
12. 子どもの安全を確保する対策の充実	
13. 子育ての講座など子育てについて学べる機会の充実	
14. 低所得者世帯に向けた支援の充実	
15. 子どもの発達・発達や障害・医療的ケア児に係る相談・支援の充実	
16. 市営住宅の優先入居など住宅面での支援	
17. その他 ()	
18. 特になし	

問 35 その他、子育てに関して日頃感じていることや悩みごと、あるいはお子さんを育てている上で気づいていること、あきる野市への要望事項等がありましたら、ご自由にお書きください。

以上でアンケートは終了です。ご協力頂き大変ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れ、**1月31日(水)** までに投函してください。

切手を貼る必要はありません。

